

再開発が不可欠な多摩市において、
京王電鉄が生き残るための戦略を示す



京王電鉄の未来

小川ゼミナール 1 班

アウトライン

現在、京王グループが京王ストアや京王プラザホテルを展開している多摩市は高齢化が進み、地域内消費の低下や子世代の市外流出が問題となっている。このまま、高齢化が進めばいずれ京王グループが行う事業は衰退していくだろう。本研究は、1916年から多摩市民の足となり生活に寄り添ってきた京王グループが、多摩市内の新たな雇用機会を創出する事業を提案する。



JR 東日本のマイオピア 脱却からの成長

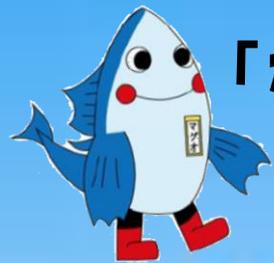
小川智由ゼミナール3班

アウトライン

国鉄時代から民営化し、JR 東日本という民間企業になり、企業としてどのように企業改革し、民間企業として成功を収めたのかを製品思考から顧客志向に着目し、また、エキナカ、Suica を関連付けた事業を深掘りして提案する。

研究の意義

この研究を通しマーケティングマイオピアを用いることでどう JR 東日本が企業改革し、民間企業として成功したのかについての理解を深めるところに研究の意義があると考えられる。



「なごみま鮮果」の新たな広報活動

私たち熊澤喜章ゼミナールは
神奈川県三浦市の
アンテナショップを経営しています。
2018年6月で
開店12周年を迎えました。



◀これまで行った広報活動↑

【アウトライン】

- ①「なごみま鮮果」の現在の行っている広報活動とテーマ設定
- ②アンテナショップ訪問について
- ③「なごみま鮮果」の新たな広報活動
- ④平成30年度みうら観光写真コンクールについて

【研究意義】

私たち広報部は三浦市の魅力の発信・なごみま鮮果の周知のため、様々な広報活動を行っていますが、マンネリ化しつつあります。そこで新しいアイデアを取り入れるために、他のアンテナショップの取り組みを調査しました。

神奈川県三浦市の財政難の状況を調査し、どのようにすれば解決できるのか、私たちに打開策を考える。



- ・プレゼンのテーマについて紹介
- ・私たちの考えた打開案
- ・このプレゼンをするにあたっての背景
- ・三浦市の現状の課題とその原因
- ・ロケツーリズムとは
- ・私たちができること

Instagramを活用した三浦市商店街の活性化案

熊澤ゼミナール 購買部

なごみま鮮果



<研究目的>

熊澤ゼミナールでは、神奈川県三浦市のアンテナショップである“なごみま鮮果”を運営しています。三浦市では、観光客が少ないことが問題視されており、トレンドであるInstagramを用いて観光マップを作成し、活性化することを考えました

<アウトライン>

- ①三浦市について
- ②Instagramとは
- ③Instagramを用いた地域活性化の例
- ④Instagramを地域活性化に用いる理由
- ⑤三浦市でのInstagram活用案



✂ MENU ✂

食を中心とした インバウンド誘致における 成功の共通点

～美食地域創設にむけて～

美食チーム

～ OUTLINE ～



はじめに
美食地域の成功事例
美食地域創設の成功要素
おわりに

～ THE MEANING ～ OF THE STUDY

今後の日本の経済政策において、
観光産業は大変重要である。
観光産業促進と地方振興を目指した
インバウンドを中心とする観光客誘
致の政策として、
地方における美食
地域づくりを提案
する。

